



南あわじ温泉郷のホームページを立ち上げ

南あわじ温泉郷連絡協議会



▲立ち上げた「南あわじ温泉郷」ホームページ

南あわじ市の温泉観光地づくりと、市民の健康保養の振興を目的に発足した「南あわじ温泉郷連絡協議会」(田辺孝宏会長)が、11月10日、市内の温泉施設を紹介したホームページを新設しました。これまで、温泉看板の設置や雑誌、パンフレットの配布等のPRを実施してきましたが、効果が目に見えにくいうことが課題となっていました。そんな中、会員から「ホームページを作成したらどうか」という声があり、今回の立ち上げに至りました。ホームページでは、南あわじ温泉郷6源泉(うずしお、南淡、潮崎、筒井、三原、サンライズ)や観光地、イベント情報などを美しい画像を交えながら紹介されています。アドレスは、<http://minamiawaji-onsen.com/> 南あわじ市ホームページのリンク集からでもご覧いただけます。

地元を知ろう

松帆小学校が現地学習会

松帆小学校では、自分たちが住む地域を知ろうと、年に1回、校区内の名所や史跡などを巡る現地学習会を行っています。

10月27日、同校の慶野地区の児童と保護者のグループ40人は、西路・志知川地区内を探索しました。

地元老人クラブの方から説明を受けながら農業用「入貫川樋門」と「大日川堰」

を見学。その後、南あわじ市滝川記念美術館「玉青館」を訪れ、展示品を鑑賞しました。同館では、直原玉青画伯の描いた「うしかひ草」や「雲龍図」などの南画、慶野で見つかった銅鐸などを鑑賞し、同館の福田龍八学芸員から説明を受けました。児童は、教室の黒板大の迫力ある絵画に感嘆しながら、見学していました。



▲玉青館内で絵画を鑑賞する児童

「大漁さかな節」復活へ

福良地区に伝わる民謡



▲練習に励む保存会の皆さん(11月15日、南淡公民館)

福良地区の芸能を愛する有志の方々約10人が、同地区でかつて流行していた民謡「大漁さかな節」を復活させるため、10月上旬に保存会を立ち上げ、週に1回練習に励んでいます。この民謡は、江戸時代の終わり頃から福良地区で流行り出したといわれ、昭和50年頃まで初漁や大漁、船おろし、新築、婚礼など、めでたい席で披露されていました。しかしその後、歌われなくなり、歌を知っている人たちが

が独自にアレンジを加えながら曲づくりに取り組みました。5番まである歌詞には、桜鯛や鳴門岬、大渦など、地元ならではの名所や特産も登場。太鼓と三味線、鐘にあわせて独特のある明るく元気な節回しで歌われます。保存会メンバーの田浦元さんは「この民謡をまちの活性化にうまく活かしていきたい」と話しています。保存会は、1月18日に三原公民館で行われる「第1回南あわじ市ふれあい文化芸術祭」で初出演する予定で、地元舞踊グループがこの民謡にあわせて踊りを披露します。

自慢の乳牛69頭が出場

らくのうひょうこフェスティバル



▲審査会場。酪農家が自慢の乳牛を披露

らくのうひょうこフェスティバルが11月1日、淡路島牧場で行われました。会場には、県内から69頭が出品され、審査員が乳の張り具合や肉付きをチェック。審査ポイントの高い乳牛には、賞が贈られました。また、会場内では乳製品のつかみどりや骨密度測定などのブースが設けられ、家族連れなど、多くの来場者で賑わいを見せました。※南あわじ市の上位入賞者【優秀賞】OFJシンジケート

小学校で花づくり出前講座

NPOあわじ緑花協会

NPO法人あわじ緑花協会(秀睦雄理事長)では、花いっぱいのもちづくりを図ろうと、各地で寄せ植えの出前講座や花の拠点づくりを行っています。11月4日には神代小学校を訪れ、3年生児童24人を指導をしながら、校内の花壇にパンジーの花200本を植えました。秀理事長は「花は手入れをしないと美しい表情を出さないの、大切に育ててください」と児童に話しました。植栽し終え、水を与えた児童は「元気に育ってほしい」とうれしそうに話していました。



▲緑花協会の助言を受けながらパンジーの花を植える児童

スポーツの秋

スポーツフェアなど開催

スポーツの秋を満喫する様々なスポーツイベントが市内で行われました。10月26日には、市体育協会主催で「スポーツフェア」を開催。あいにくの天気でしたが、丸山ウォーキング大会やトランポ・ロビックス教室などでさわやかな汗を流しました。同日、サンプルでは、北京オリンピックで活躍した中西悠子選手が訪れ、島内外から集まった子どもたちを前に、世界レベルの泳ぎを披露。歓声が上がりました。



▲中西選手を囲む市内の子どもたち(サンプル)

おめでとう

平川隆一さんに
秩父宮章



▲平川さん

陸上競技界では最高の賞とされる秩父宮章を平川隆一さん(松帆)が受章しました。

これは日本陸上競技連盟が、陸上競技の発展に尽くした人をたたえるもので、10月4日、大分県で行われた国体陸上競技の席上で授章式が行われました。

平川さんは、兵庫陸上競技協会副会長や淡路陸上競技協会副会長を長年務められ、陸上競技の振興に力を尽くされました。

池本誠さんに 若人の賞



▲池本さん

豊かな創造力と限りない情熱を傾けながら地域活動やボランティア活動等に積極的に取り組んできた青少年を表彰する若人の賞。このほど池本誠さん(阿万)が受賞しました。

池本さんは、長年ボーイスカウト三原第一団の指導者を務めており、また市教育委員会が実施している通学合宿「わくわくステイ」にも高校生時代からリーダーとして中心的な役割で係わり、青少年の健全育成に尽くされています。

兵庫県連合自治会 会長表彰

長年にわたり、自治会活動に貢献のあった次の方々に兵庫県連合自治会大会(11月6日、赤穂市)の席上にて、兵庫県連合自治会会長表彰が贈られました。

- (順不同、敬称略)
今岡 秀壽(福良)
川添 眞吾(福良)